

地方自治体にできること



Social Cohesion Guide for Local Government

地方自治体への帰属意識

地方自治体はその地域のコミュニティを代表する組織であり、人々が社会の一員としての帰属意識を感じ、ありのままの姿で社会に参画できるように手助けします。地方行政は、特定支援プログラムを通じてコミュニティ主導の解決策を生み出すなど、住民と直接関わりながら地域の問題に取り組みます。支援プログラムの例：

- 住宅問題、ホームレス対策
- 身体障害のある住民のためのアクセシビリティ問題
- コミュニティセンター
- ボランティア活動
- コミュニティの安全
- Māori人、ポリネシア系、高齢者、青少年、宗教など多様なコミュニティ向けのプログラム
- 文化・芸術

お住まいの通りや区域、所属するクラブ活動や職業協会・学校・宗教施設・文化団体など、どんなコミュニティに属していても、ありのままの自分で何かの一員になり、帰属意識や仲間意識を持てることはうれしいものです。

私たち一人一人は違って、多様性と異なる意見を尊重し、折り合いをつけて暮らしていきたいと願う気持ちは同じであり、大切にすべきものです。なぜなら、世の中には「ありのままに生きられない」「自分の意見を聞いてもらえない」と感じている人たちもいるからです。

国内に様々なコミュニティが確立され、社会の多様化が進む今、互いに相手の話を聞き、相互理解を深める必要があります。互いの相違点や長所を認識し、結束を強め、相手との距離を縮めることに励みましょう。

帰属意識

– 具体的にはどんなこと？

あらゆる人が分け隔てなく暮らせる社会では…隣人をはじめ誰もがお互いを知り、理解しています。職場で疎外感を感じることはありません。必要に応じて適切な助けを求めることができます。日常では接点のないような人とも気がねなく話ができます。差別的な言動には異議を唱えることができます。自分の出自や慣習などを臆することなく他者と共有できます。緊急時には、あらゆる人が考慮され、誰ひとりとして見過ごされることはありません。

帰属意識を育てる

– 私たちにできること

人々が帰属意識を持ち、多様性を享受し、他者を信頼して積極的に関与し合い、連帯感と相互尊重を実感できようになるため、地方自治体に何ができるでしょう。

他者とのつながりと信頼

- Iwi (部族) や汎Māori団体、NGO団体などと協力し、地方行政のあらゆるレベルで人々が帰属意識を持てる地方主導の取り組みを策定する。
- 様々なコミュニティとの話し合いの場を持ち、信頼関係を構築する。その際、相手の都合を考慮して時間と場所を決める。
 - たとえば、オークランド市議会は、市役所の職員、地域の家族、コミュニティ、NGO団体、産業界の代表から構成されるSouthern Initiativeを実施し、サウス・オークランドの社会経済問題対策を講じている。

多様性の享受と相互尊重の実現

- 包括的なリーダーシップと文化的コンピテンシーに関する職員研修を促進し、コミュニティ同士のつながりを強化できるようにアクセシビリティのよい公共施設を提供する。例：
 - 移民局のWelcoming Communitiesプログラムに加入する。
 - Taituarā (旧称:Society of Local Government Managers「地方自治体長協会」) がダイバーシティとインクルージョンを促進するために策定したプログラム「Leap」を活用する。
 - TaituarāのCommunity Wellbeingデータサービスを活用し、現時点におけるコミュニティの健全性を把握し、重点改善項目を特定する。

連帯感

様々な集団の建設的な協同を促す。

- コミュニティ主催イベントへの助成金支援 (相応の報告義務を課す)
- コミュニティセンター利用の無料化又は割引
- コミュニティ主催イベントの無料化
- 近隣住民やコミュニティが主催するNeighbours Day (ご近所づきあいを深めるイベント) への助成金支援、又は会場の無償提供

参画

- より多くの人々が公の協議に参加できるように日時や時間帯を調整する (ウィークデーの午後5時以降、週末など)。動向がつかみにくいコミュニティに対して働きかける。意思決定プロセスへのMāori人の参画を強化する。選挙前に無料の市民教育ワークショップを開催する。幅広い市民教育の機会に助成金を提供する。
- Social cohesion (社会的結束) に関する地方自治体の長期強化計画に市民の声を反映するため、週末に意見交換会を開催する。
- 次に挙げるような方法で Te Reo (マオリ語)、Aotearoa ニュージーランドの歴史、Te Tiriti o Waitangi (ワイタングィ条約) について学ぶ。無料オンライン・アプリ Kōrerorero, Kupu, Ako Tahi) を利用する。Te Wānanga o Aotearoa のコースに申し込む。地元の博物館の歴史展示を見学する。公共図書館から Aotearoa ニュージーランドの歴史に関する書籍を借りる。
- 差別的な態度をとる人に対して、勇気ある対話を試みる。人権委員会の公式サイトに掲載されている資料 ([Responding to Racism 「人種差別への対応」](#) など) が役立つ。
- 職員や代表者の研修の機会を設ける。
- コミュニティ・プロジェクトの運営資金を調達するため、政府諸機関の助成金を申請する。[補助金管理制度](#) 又は [コミュニティ主導の開発プログラム](#) を通じて [COGS \(地域組織の補助金制度\)](#) や [宝くじ協会](#) に申請する。

